

2025年 朝鮮半島平和統一南北共同祈禱主日祈禱文(南側草案)

「平和を造る人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」

(マタイによる福音書 5:9)

神よ、平和の主よ、

この地は、今、最も暗い、夜明けの縁に立たされています。

長い夜の沈黙を破り

遠くから聞こえてくる平和の気配に

私たちの胸は再び静かに躍り始めます。

分断と解放から80年、戦争が休止してから72年が過ぎましたが

私たちは今もまだ、真の平和の約束を待ち望みながら生きています。

しかし主よ、その長い時間の中でも

あなたの慈しみと平和は、一瞬たりとも途絶えたことはなかったと信じます。

今、私たちが立っているこの場所は

新たな始まりを抱いた、主の夜明けであると信じます。

主よ、

互いに対して心の扉を閉ざし、

隣人の苦痛に目を閉ざして生きてきた

私たちの無関心と冷笑をお赦しください。

しかし、主よ、その長い障壁を越えて

互いに向かって歩みを踏み出す、小さな変化の気配が

再び現われ始めているのを私たちは感じています。

途絶えていた言葉が再び聞こえてきて、

途切れていた息を吹き返しています。

沈黙と寂寞の中からかすかに聞こえてきた平和のささやきが

今、勇気ある行動によって目を覚ましつつあります。

対話を妨げていた拡声器の音が止み、

平和に向けた慎重な歩みが始まっています。

主よ、

このすべての小さな始まりが

真実の出会いと持続的な平和の道につながるようにしてください。

この地の戦争を正当化してきたすべての憎悪と敵愾心が

これ以上私たちの未来を遮ることのないようにしてください。

私たちが自ら設定した境界や条件を取り除き、

自由に行き来し、互いの痛みを分かち合う
その日が訪れることを心から夢見させてください。

主よ、
この地を痛ましく引き裂いた戦争と分裂の傷の上に
キリストの愛と赦しが流れるようにしてください。

主よ、
私たちは 39 年前、スイスの小さな町グリオンで
南と北の教会が共に聖餐にあずかった、あの感激の瞬間を忘れていません。
民と民を聖霊にあって一つにさせていただいた、あの恵みのときを記憶しつつ、
今、私たちが再び、互いに手を差し伸べ
正義と和解、一致のエキュメニカルの航海を喜んで共に始めさせてください。
特に、地球の至る所で戦争と抑圧に苦しむ
神の子たちに共に連帯させてください。

正義を伴う持続可能な平和に向かう
世界のエキュメニカル共同体の旅に
私たちが責任を持って共に参加できるようにしてください。

主よ、
私たちの内にある落胆を取り除き、立ち直らせてくださり、
私たちを再び平和の使命によって招かれる主の声に
喜んで応答できるようにしてください。

朝鮮半島を越え、北東アジアの平和地帯へと
この地を導こうとなさる主のご意思に従い、
神の国の正義と平和、命に向けて
私たちの生き方を捧げさせてください。

今この時代は
キリストの内において再び始めることができる
神のカイロス、恩寵の時であることを信じます。
私たちがその招きに応え、
愛と平和、命の主に向かって
心と思いを尽くして、進むようにさせてください。

イエス・キリストの名によってお祈りいたします。

アーメン